

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営鶴巻団地公営住宅新築工事(1期-第2工区)	階数	地上7F
建設地	神奈川県秦野市鶴巻南 2-7 外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	144 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年2月7日
敷地面積	3,684 m ²	作成者	株式会社タック都市開発研究所
建築面積	660 m ²	確認日	2025年2月7日
延床面積	3,683 m ²	確認者	株式会社タック都市開発研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
神奈川県秦野市に計画された地上7階建て、RC造共同住宅 室内環境とエネルギーに配慮した計画とした	特になし	
Q1 室内環境 全住戸の外皮性能、断熱等級6を達成	Q2 サービス性能 維持管理や耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材や配管を採用した	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している
LR1 エネルギー 外皮最不利住戸UA値0.45、住棟でのBEI0.66(再エネ含む)を達成	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄下地+仕上げ材で別が容易になっている	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物以下となる計画とした

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される